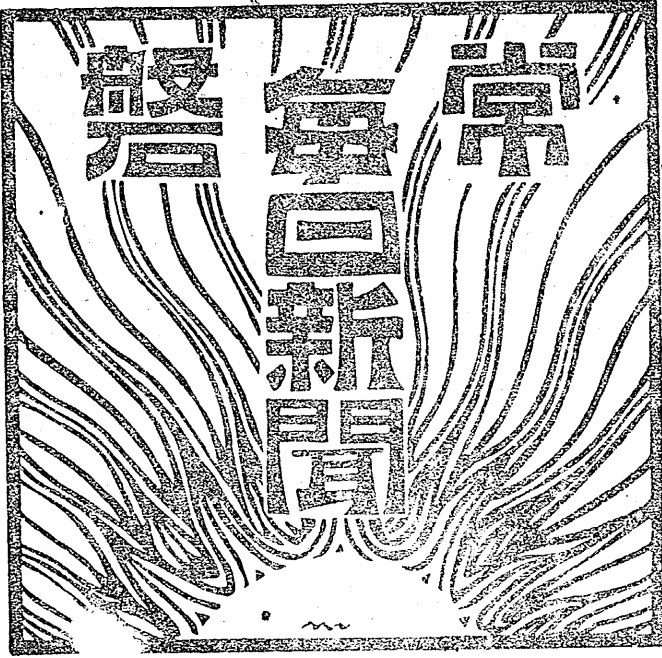


日刊 發行所 平野 川崎 文 治 本社 同前地 (電話六三〇番)



刊夕日九十二月一十

定部金 郵税 送料 印刷 電話 發行所 電話 電話

美味評判 **イロキ食堂** オの部電話四六〇番

平町細屋町(縣社通り) **なかや洋服店** 平町二丁目(電二〇三)

揃ひました! いろいろな冬の洋服が 値段は二割乃至一割安...

肺病ロクマクの妙薬 ホシアンテツベルケン (五日分定價一圓八錢)

待かねの特製 **生菓子** イヨ〜本日より發賣致します

毛糸新荷着 毛糸大安賣出し 一ポンド二円廿五...

入場料... 持等 壹圓 八拾錢 平町 **平劇場**

美音 **篠田實師一行出演** 隨一 **紺屋高尾** 長講二席

町平 **吉田眼科醫院** 天與之美音を以て其の藝術に生きたる實師は斯界の明星...

原齒科醫院 平町土橋通り電話三一三番

高久病院 院長 醫學士 高久 忠 副院長 醫學士 赤羽 清忠

常盤論 景氣の根柢 (18) 經濟學博士太田正孝氏述

為替相場が二割下つたと云ふことは日本の金の値打が二割下つたこと...

あると云ふ點にお氣付き願ひたい。それで或年間に不景氣のありました時に、さう云ふ遣口をするか...

◎財界不況二伴ヒ 十一月二日ヨリ 値下斷行

カッレツ二十錢 カレイライス二十錢 メンチカツ二十錢...

病院組織 院長 醫學博士 新井 寛治 副院長 醫學博士 渡部 桂太郎

磐城共濟病院 共濟會員 診察無料 藥劑局 衛生試驗部...

醬油 味噌 鰹節 罐頭食品 鹽山崎合名會社 製造問屋

電話 營業部 一〇番 工場 二七番

歳末の金融界は 極く平穩に通過

不況は漸次中以下に移り 銀行は遊資に苦しむ

財界は不況がだん／＼中以下の商工業者に及びその深刻さを加へつゝある有様であるので歳末の近づくに連れて年末金融を悲観する聲が盛んであるが

昨今の 財界萎縮は

今春の恐慌直後経済界の上層を動搖せしめた大嵐が年末接近と共に漸次下層に移つて来たもので、どうして一度は免るべからざるどころであつたがしからば不況の深刻化したことは歳末金融界に大いに

影響す

るかと云ふに實は金融界にはほん／＼とひびかないものゝやうである、けだし恐慌以後の金融界は一方には資金の大銀行集中となり他方においては商工業不振に伴ふ資金需要不活潑から金利は大いに低落し東京大阪等の

大銀行

はもとより地方においてもやゝ有力な銀行はいまに遊資をいだいてその處分に苦しみ止むを得ずこれを公社債にかへて居る有様であるから、今後幾分資金の需要が起つても何等の不安がないだけの用意はなされて居る。しかるに

前述の

ごとく財界は極度に近い萎微不振で目

荷物の戸口から戸口へ……を宣傳してからは小荷物が可成増加してゐるが殊に年末となつて年末年首の贈答品の發送が非常に多くなつて折角の好意が途中で滅茶々々になつたり又荷札が取れたり上書が消えたりしてそれが迷ひ子になつたりする事が珍しくなく後日になつて文句が出来てもお互に迷惑を受くるばかりであるから發行人は最初より荷造りを完全にし、又荷札の如きもハツキリと書いて誤送や荷崩れのないやうに充分注意してほしいと鐵道當局では語つてゐた

貯金を後廻しにして 飲んだのが身の不覺

郵便局への途を聞いて 牛乳瓶で頭を破らる

石城郡湯本町入山第四坑々夫中島運次郎(五)は二十八日平局へ貯金せんと來平したが懐の暖かな所から強たか飲食して郵便局を忘れて了い田町通りを徘徊中北目町鈴木牛乳店配達夫鈴木久治(三)に出會つたので局は何處かと尋ねると配達最中で忙がしいのにそんな事判るもんかいといはねつけれ憤慨し鐵拳を揮つて久治の顔面を殴つた爲今度は久治が持合せた牛乳壺を振上げ運次郎の前額部を打下し長さ約三センチメートルの裂傷を負はせ鈴木巡査部長が駆けつけ手當を加ひしめて歸

米價總崩れ

形勢日に非 賣急ぎから

石城地方の米價は去る中旬極めて短期間僅少の好況を見せたが數日來再び下落を呈し加ふるに農村の金融逼迫から新米の「ザラ」取引が盛んに行はれるので相馬郡の標準四等米一畝(四斗入二俵)廿四圓五六十錢の相場を唱へられてゐるに拘らず石城新米の前記無検査も



家庭欄

歳末贈答品は 荷造を嚴重に

鐵道から願

鐵道が小口扱を開始して小

せきとたん

これからの風邪は咳とたんを伴ひ發熱の少いことが多

水道消火栓が紛失 不良少年の處爲か

平署嚴重に捜査

平町に最近不良少年が横行しカフエーなどを荒し廻るので平署は嚴重な取締りをなしてゐるが二十七日朝同町一丁目裏の水道消火せんが紛失してあるのを發見數日前にも紛失した事があり平署では不良少年連の悪戯とにらみ捜査中

同乗客から 携帶品を盗む

平町紺屋町菓子商吉田宇吉

流の行 ルーヨシ

立仕給たい利の氣

今年の冬のシヨールの新しい流行として現れたものに、毛皮を周圍に取りつけたもの、又は片つ方だけにもちひたものが目新しく一般に歡迎されつゝあります。なほもう一つ氣の利いた流行を見せようのは両面とも使用される裕仕立のシヨールであります。例へばラ

絹地を

合せてもの絹無地と紋織柄物とを以てしたもので等何れも一方の側に飽いたなら他の面を出す

無地を

合せて周圍には黒の毛皮を取付けたもの片側には紫地の紋ボブリン他の側には小豆色の無地のラクダを配したものと又一方の面を小豆色霞のシャルマン地、片側は水色のラクダを以てし之に白の毛皮を

片側に

丈け取りつけたもの等何れも落ち付いたおとなしい趣味のものであります。ハイカラで派手

のは一畝廿二圓の安値に落ちて昨今それすら支へ切れない様な不況に瀕してゐる更に現状より推す先行きに悲觀説が多いため農家の賣急ぎが一層不結果を招かねばならぬ羽目に遭遇してゐるが此まゝの成行きでは來月中旬頃の出盛りには一畝廿圓位に下落はせぬかと生産側は非常の憂慮を抱いてゐる

兔の耳

◇義母に仕へる貞婦 吳市今西通り四丁目鷹下イサは卅三歳の時夫三郎に死別れたそれは遺兒現戸主林藏が六つ弟秀夫が三つであつた、そして三郎の義母であるタミをも見ねばならない立場にあつた例令多少の遺産があつたにせよ女のか弱い腕に夫亡跡の一家を支へ健氣にも病母を看護し子を育て上げた其間の奮闘努力は筆舌に盡せず二人

募集

文藝其他投稿を募集します。の子は孰れも成功し自分は何種事業に寄金をする等で今度町から表彰された

平町人事

出生 △杉平一九山崎道也氏長男孝道 △新川町二五吉野真吉(七二) △田町四六小森幾六郎(四〇)